

入学から修了まで

在宅学習・スクーリング・修士論文により学習を進めます。

博士前期課程では、修士論文作成だけでなく、学問を深める上で必要となる基本的な知識・学識を身につけるための在宅学習(通信科目)とスクーリング(通信・面接併用科目)が用意されています。

在宅学習 [通信科目]

基本文献を軸に指導書「スタディガイド」等に基づいて学習します。指導書には各科目とも15回分の学習テーマ、主要概念・用語、参考文献等が記載されており、文献を参考にしながら効果的に学習と研究を進められるようになって

います。レポートは郵送または事務局窓口で提出。1科目につき2課題のレポートに合格すると、科目終了試験を受けることができます。レポート・試験に合格することで、単位修得となります。



図書の宅配貸出など

聖徳大学川並弘昭記念図書館では、宅配便による図書の貸出を行っています(院生は20冊まで)。また、郵送による文献複写サービスもあります。修士論文作成の上で必要な学術論文等を、来校することなく取り寄せることができます(ページ数に制限があります)。

※いずれも、送料は利用者負担となります。

科目終了試験は自宅で受験可能

科目終了試験は、年10回、日曜日に行っています。

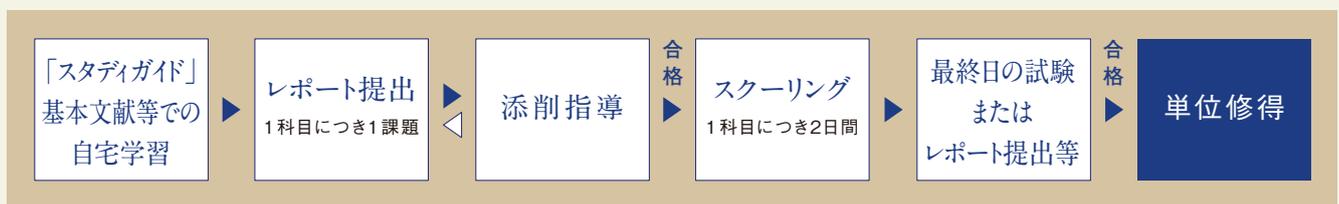
- ・1回の試験で3科目まで(1科目1時間)受験することができます。
- ・科目終了試験実施方法については、オンライン試験となります。開催実績・詳細については、32頁を参照ください。

スクーリング [通信・面接併用科目]

通信科目同様、「スタディガイド」等に基づいて学習し、1科目につき1課題のレポートを提出します。レポートに合格すると、スクーリングを受けることができます。スクーリングは、1科目につき2日間の授業に出席。最終日の試験またはレポート提出など課題をクリアすると単位修得となります。

※修了までに必要なスクーリングは、希望する領域によっても異なりますが、2日程度になります。

スクーリング開催期間	開講方法
夏期:7月下旬~9月上旬 冬期:12月上旬~下旬 春期:2月下旬~3月下旬	オンラインまたは対面 ※科目により異なります。 開講実績は32頁を参照ください。



会って話して
聞いて納得!

SEITOKU大学院合同説明会のご案内

聖徳の大学院を知りたい方。まずは一度説明会にご参加ください! (要予約)

聖徳大学大学院では通学課程・通信教育課程合同の、SEITOKU大学院合同説明会を年2回程度開催しています。各研究科の研究内容や通信での学習方法などを詳しく知ることができるほか、本学教員の受験対策講座などの特別講座も開催!直接教員と会える機会ですので、聖徳の大学院をお知りになりたい方は、ぜひいらしてください。また、教員・スタッフによるオンライン入学相談も随時開催しておりますので、遠方の方などはこちらも活用ください。



開催日ごとに内容が異なりますので、詳細はホームページをご覧ください。

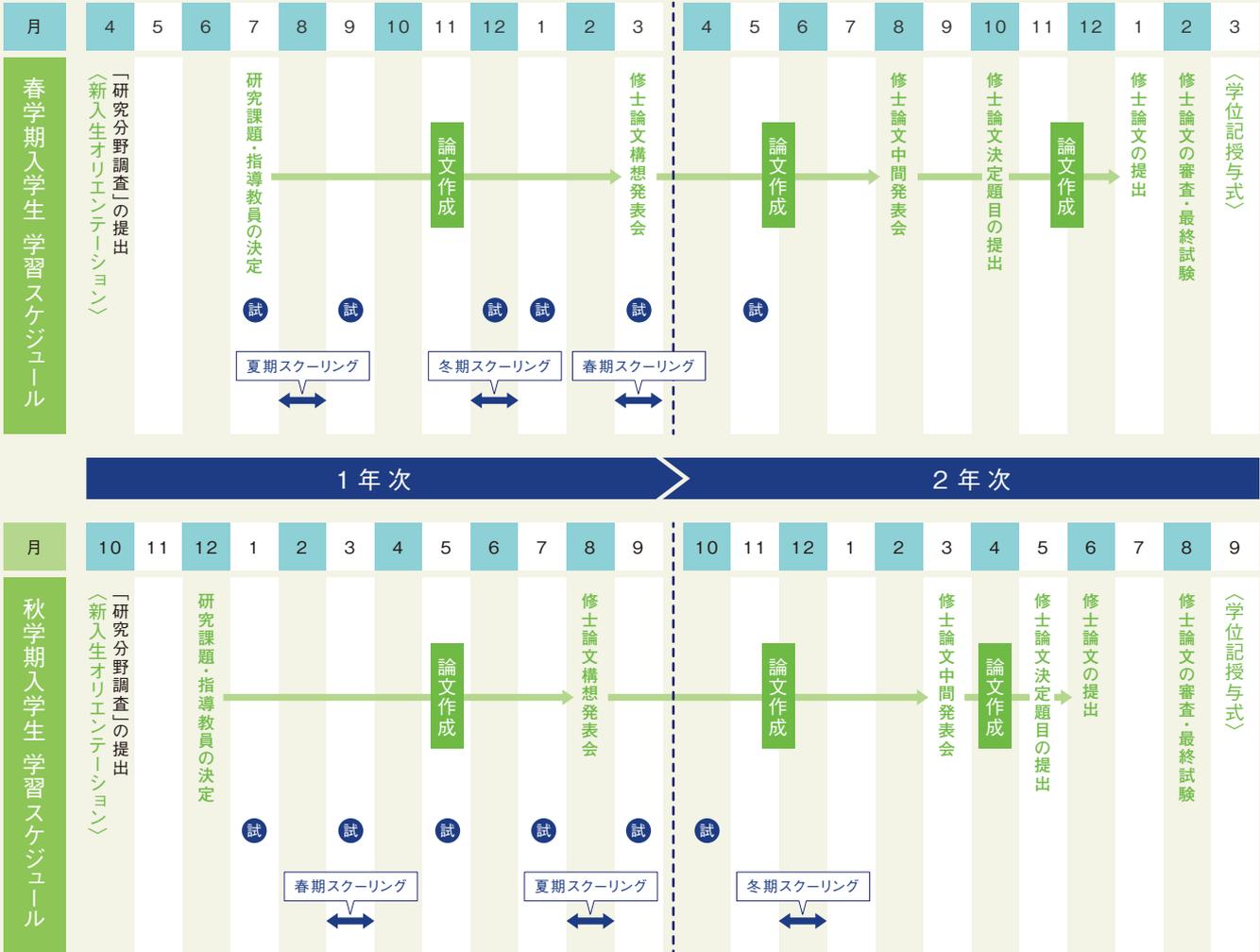
<https://tk.seitoku-u.ac.jp/>

修士論文

希望する研究テーマに最も適している指導教員を本学にて決定します。まずは論文の概略を発表する「修士論文構想発表会」、ついで論文

の骨組みや内容を具体化し、教員に意見を仰ぐ「中間発表会」といった一連のプロセスを踏みながら、論文の内容を深めていきます。

修士論文基本スケジュール(目安)



試 は科目終了試験

参考 これまでの研究テーマ(例)

- 保育所における養護と教育を一体的に行う保育士の関わり—1歳児のオムツ交換場面に着目して—
- 小学校通常学級における特別支援教育支援員の支援の構築プロセスに関する質的研究
- 教育課程における防災教育の位置付けの試み—総合的認識形成の視点からの分析—
- 模擬保育カンファレンスを用いた特別支援研修プログラムの検討—会話分析とフォローアップを通して—
- 中学生の悩みに対する援助希求におよぼす抑制要因
- ドイツで育った日独国際児の文化的アイデンティティ形成のプロセス—M-GTAによる分析を通して—
- 病児・病後児保育に携わる保育士に求められるsub-specialityについて—保育士・看護師・保護者のとらえ方に着目して—
- 絵本の読み聞かせと対人感謝の関連
- 童謡の誕生—「赤い鳥」童謡運動で創出された童謡を中心に—

論文作成のための分析手法もスクーリングで受けられる!

修士論文作成に必要な分析手法を学ぶための科目も共通科目に設定。児童学研究法特論(I)では統計データ解析方法を、児童学研究法特論(II)では質的研究法を用いた分析方法を学ぶことができます。

